

地域振興推進費事業計画・自己評価書(平成30年度実績)

提出区分		実績						
整理番号		5		課題区分		C		
実施機関		上田地域振興局、佐久地域振興局、長野大学				上田地域振興局・佐久地域振興局		
事業名		上田・佐久北部地域食料自給圏消費実態調査				担当課	所属	農政課
							電話	0268-25-7126(上田) 0267-63-3147(佐久)
							E-mail	uedachi-nosei@pref.nagano.lg.jp (上田) sakuchi-nosei@pref.nagano.lg.jp (佐久)
事業の概要等	目的 (目指す姿)	地域で生産される農産物について、地元での加工・消費実態等を調査するとともに、地域内循環の仕組みづくりや経済効果試算を実施して地消地産を推進する。						
	現状と課題	地消地産を推進してきているが、加工原料となる農産物生産では、加工・消費に至る段階別の課題把握が十分とはいえないため、特に販売業者や加工業者等の実態調査を行う必要がある。また、地域内で循環する仕組みづくりのため、生産者や消費者に理解いただくための経済効果の提示が必要である。						
	内容 (変更後の内容)	<p>○地域内自給を図るための畑作物である大豆を中心とした穀物(馬鈴薯、小麦)を原料とする加工食品について、生産、加工、流通、販売等の実態調査を行うとともに、経済効果の試算を行う。</p> <p>○地域食材(生鮮農産物)の観光地等での消費・利用実態を踏まえ、一層の利用促進につながる供給体制づくりなど、モデルケースの提案を行う。</p> <p>○調査委託先:長野大学 ※調査実施エリアは佐久及び上田地域振興局管内であるが、調査機関への委託等については、上田地域振興局で行う</p>						
	事業期間	平成30年8月 ~ 平成31年2月						
	成果目標 (成果指標)	<p>○地域内循環の仕組みが構築され、地元農産物の利用が拡大する。(地元産に置き変わる)</p> <p>○経済効果の試算により、農産物を地元で生産・加工・販売・消費する機運が高まる。</p>						
事業費等	(単位:円)							
	事業を構成する細事業名等	実施内容	実績額	備考				
	委託費	長野大学への調査委託料	500,000	上田地域振興局、佐久地域振興局で25万円ずつ負担				
	合計		500,000					
事業実績・成果	事業実績		事業の成果		評価			
	<p>○大豆では、生産者・加工メーカー・スーパーの実態調査を実施</p> <p>○野菜関係では、軽井沢のホテル・旅館に対し、4品目の需要実態等を調査</p> <p>○12/21 中間検討会を開催</p> <p>○3/6 大豆に関する産地交流会を開催し、長野大学へ講演を依頼</p> <p>○3/11 県主催の検討会で報告を予定</p>		<p>○大豆を地域内循環する取り組みについて、経済効果試算ができたことで、地域貢献への見える化が図られた。</p> <p>○地域内循環のモデルとして、生産+加工+流通+消費の連携を進めるためのツールとして活用可能となった。</p>		<p>○ 期待以上</p> <p>● 期待どおり</p> <p>○ やや下回る</p> <p>○ 期待以下</p>			
今後の方向性	大豆に係る循環モデルができたので、この取組を定着させる活動を進める。							